



私達は、おはなしのろうそくに
火をともし マッチです。
この箱が、さまざまな話を放つ
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

12月のストーリーテリング勉強会

2013年12月11日(水) 午前9:30~12:00

主催：高知県立図書館 参加者：9人

場所：高知県立図書館 児童図書研究室(子ども読書室奥)

次の勉強会は

1月8日(水)

午前9:30~12:00

場所：当館児童図書研究室

(子ども読書室奥)

1. 十二のつきのおくりもの

10分

『エパミナダス(愛蔵版おはなしのろうそく1)』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】

クリスマスにむけて話を覚えました。情景が家と森の移り変わりなので、雰囲気にも相違をもたせるように語りました。

2. ゆうかんな靴直し

10分

『子どもに語るイタリアの昔話』(剣持 弘子/訳・再話 こくま社/発行)より

【語り手から】

途中、ちょっと文言を違えてしまい、実は後半は余裕がなくなってきていたのだが、そうは見えなかったらしいのでほっとしました。もっと練習しなければ、と思いました。

3. あのね、サンタの国ではね… サンタクロースの1年の暮らし

10分

『あのね、サンタの国ではね… サンタクロースの1年の暮らし』(黒井 健/絵 嘉納 純子/文 偕成社/発行)より

【語り手から】

いつもは、子ども達(3~5歳児)に語っているのですが、今回大人だけの前で語ったのは初めてでした。子ども達に分かりやすいような、短めのクリスマスのお話をしたいと思い、今回は、絵本をそのまま語ってみました。皆さんから、1月~12月のクリスマスまでの話し方を、絵本のままの文章ではなく、接続詞を自分でつけ加えるなどして工夫していくと、絵本を見たことのないこのお話も想像がしやすく聴きやすくなる、とアドバイスを頂きました。ストーリーテリングベテランの方のお話やご意見・ご感想も聞けて大変勉強になりました。

4. ほしはみだの

10分

『ほしはみだの』(杉田豊/絵 武市八十雄/文 至光社/発行)より

(マーグリート・ポーランド/作 リー・ヴォイト/絵 さくま ゆみこ/訳 福音館書店/発行)より

【語り手から】

わたしの好きなクリスマスのおはなしをさせていただきました。

5. 北風に会いにいった少年

12分

『ミリー・モリー・マンデーのおはなし』

(ジョイス・L・プリズリー/さく 上条 由美子/やく 菊池 恭子/え 福音館書店/発行)より

【語り手から】

まだまだ練習不足でした。2月初旬に本番なので、引き続きがんばります。

6. がちょうはくちょう

12分

『おはなしのろうそく27』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】

まだスムーズに語れないところがあって、もっと練習が必要だと思った。マーシャの成長を余裕をもって語りたいです。

高知の秋は短いですが、今年はさらに短く、その分冬の訪れが早いようです。子ども読書室から見える藤並の森の紅葉も、風に吹かれ陽に照らされてきらきらと舞い落ちてしまいました。次は雪が舞う様子が見られそうです。今年も多数ご参加いただき、ありがとうございました。来年も、よろしくお願ひいたします。